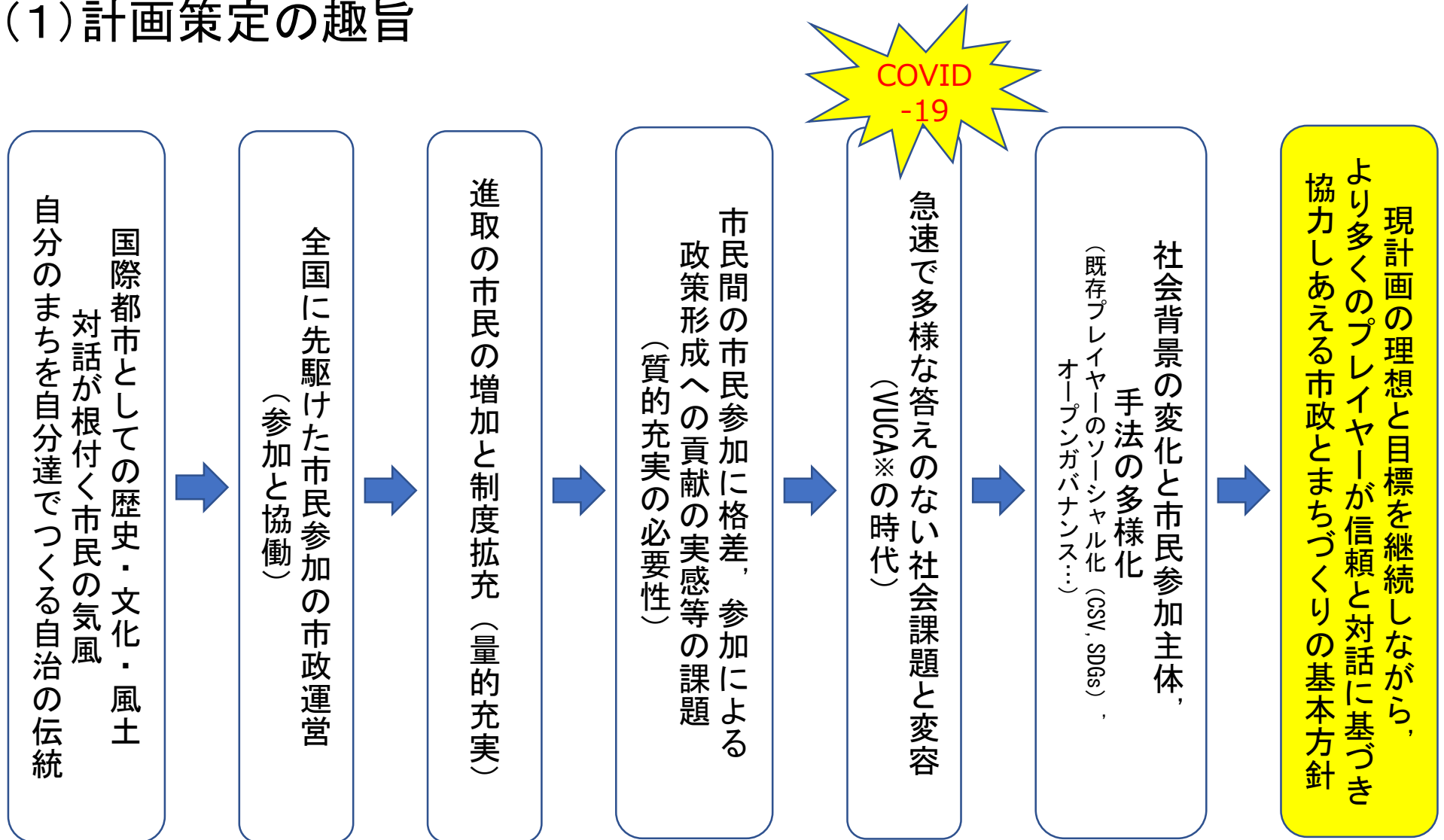


第3期「京都市市民参加推進計画」 の構成（案）

1. はじめに

(1) 計画策定の趣旨



※VUCA・・・ Volatility(変動), Uncertainty(不確実), Complexity(複雑), Ambiguity(曖昧)の頭文字をつなぎ合わせた造語で、これら4つの要因により、現在の社会経済環境がきわめて予測困難な状況に直面しているという時代認識を表す言葉

1. はじめに

(2) 計画の位置づけ

(都市理念) 世界文化自由都市宣言 昭和53年(1978年)10月

京都市基本構想(グランドビジョン) 平成13年(2001年)~令和7年(2025年)

京都市基本計画(第1期)
平成13年~22年

京都市基本計画(第2期)
平成23年~令和2年

京都市基本計画
(第3期)
令和3年~7年

1期計画

1期計画
(改訂版)

2期計画

2期計画
(改定版)

3期計画

2. 第2期計画の総括

(1) 計画状況概要

実施状況（令和3年3月時点）

基本方針1	3施策	（顕著な取組例等）
基本方針2	7施策	（顕著な取組例等）
基本方針3	9施策	（顕著な取組例等）
推進体制	4取組	（顕著な取組例等）

進捗確認

現計画の進捗状況は、市民参加推進条例に基づき設置される「市民参加推進フォーラム」（以下「フォーラム」）により審議するとともに、毎年度「市民参加推進計画に基づく施策実施状況及び実施計画」を取りまとめ、市会に報告し、市民に公表している。また、参加と協働による市民参加の日々の情報は、まちづくりポータルサイト「みんなでつくる京都」をはじめ、京都市公式ホームページ等で発信している。

「目指す未来像」の実現に向けて、各施策は着実に進捗している。

2. 第2期計画の総括

(2) 各基本方針の取組状況

市民参加推進フォーラムによる進捗の評価

年度	分析項目	手法
H28 (2016)	基本方針2「市民の市政への参加の推進」	・特徴的な2事業について、ヒアリング調査を実施
29 (2017)	基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」	・まちづくり活動をしている方を対象にアンケート及びヒアリング調査を実施
30 (2018)	基本方針1「市民との未来像・課題の共有」、基本方針2「市民の市政への参加の推進」	・市の取組状況について調査 ・若者世代を対象に、アンケート及びヒアリング調査を実施
R1 (2019)	基本方針1「市民との未来像・課題の共有」、基本方針2「市民の市政への参加の推進」 計画を着実に進めるための推進体制	・全国で特徴的、先進的な取組を行っている例について調査 ・市政総合アンケートの分析 ・庁内照会の分析

2. 第2期計画の総括

(2) 各基本方針の取組状況

基本方針1：「市民との未来像・課題の共有」

アンケート／ヒアリング調査結果

コンテンツ／フォーラム意見

他都市調査結果

コンテンツ／フォーラム意見

2. 第2期計画の総括

(2) 各基本方針の取組状況

基本方針2:「市民の市政への参加の推進」

所管部署ヒアリング

コンテンツ／フォーラム意見

他都市調査

コンテンツ／フォーラム意見

2. 第2期計画の総括

(2) 各基本方針の取組状況

基本方針3:「市民のまちづくり活動の活性化」

まちづくり活動をしている方へのアンケート／ヒアリング

コンテンツ／フォーラム意見

2. 第2期計画の総括

(3) 市政総合アンケート結果

コンテンツ／フォーラム意見

2. 第2期計画の総括

(4) 有識者ヒアリング結果

コンテンツ／フォーラム意見

2. 第2期計画の総括

(5) 推進体制

特徴的な取組(ファシリ, 区企画ライン創設等)
／フォーラム意見

3. 第3期計画の考え方

社会背景の変化に伴う考え方、言葉の意味合いの変更等も考慮

(1) 目指す未来像と基本方針

第3期計画の後の、新しい京都市の姿（さらなる四半世紀も視野に入れた大きな構想）につなげていくことを目標とし、究極の理想像としての、現計画の未来像と方針を継続・踏襲しながら、この5年間で最も重視し、未来につなげるための3つの視点を設定する。

「参加と協働により、豊かで活力のある地域社会の実現」

参加と協働により、「豊かで活力のある地域社会の実現」が目指す地域社会の姿として「市民、地域の住民組織、NPO、企業・事業者、大学、寺社、行政等のあらゆる主体が、まちづくりにおけるそれぞれの役割を積極的に果たすとともに、これまでの役割の範囲を超えて連携し、対等の立場で知恵と力を出し合う協働のまちづくりや、地域コミュニティの活性化が進み、その成果を市民が実感している。

- 基本方針1 「市民との未来像・課題の共有」 . . . (説明)
- 基本方針2 「市民の市政への参加の推進」 . . . (説明)
- 基本方針3 「市民のまちづくり活動の活性化」 . . . (説明)
- 計画を着実に進めるための推進体制 . . . (説明)

3. 第3期計画の考え方

(2) 三つの重視する視点

「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進

あらゆる主体が、つながり、共に行動し、持続、発展するには、各主体が対等の立場で、安心して対話することで、情報を共有し、共に学び合い、信頼し合えることが重要である。

次世代につながる市民参加の裾野の拡大

多様な市民一人一人が、一歩踏み出し、主体的に取り組めるよう、子ども・若者をはじめ、より多くの方が市民参加しやすい仕組みづくりやきっかけづくり、学ぶ機会の創出など、次世代につながる、市民参加の裾野を更に広げていくことが重要である。

協働による課題解決への挑戦

多様化、複雑化する課題の解決に向けて、課題も含めて行政の情報をオープンにし、組織や立場、分野や世代を越えて、多様な主体が参加し、知恵と力を結集して、協働して実践する、挑戦できる仕組みが重要である。

4. 計画推進のための施策

目指す未来像の実現に向け、今後5年間で取り組む内容

基本方針1「市民との未来像・課題の共有」
基本方針2「市民の市政への参加の推進」
基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

ウィズコロナ
新しい生活様式

三つの重視する視点

- ・「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進
- ・次世代につながる市民参加の裾野の拡大
- ・協働による課題解決への挑戦

- ・市政参加を推進するフェーズ(局面)
- ・まちづくり活動を活性化させるフェーズ(局面)
- ・推進する「施策」(第2期改定版:19)
+各施策の「具体的な推進例(取組)」

基本計画
の視点

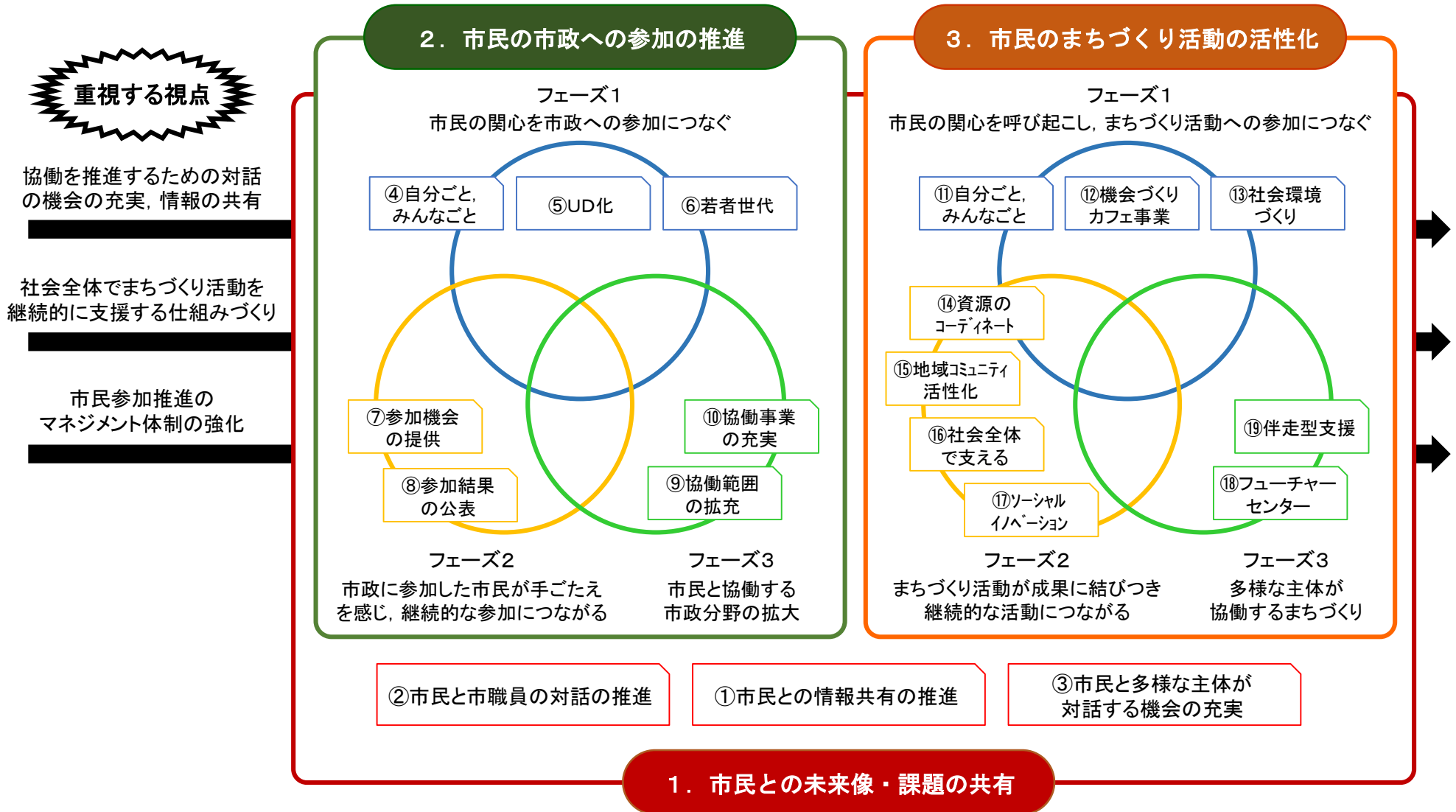
+

計画を着実に進めるための推進体制

次期基本計画の
新重点戦略, 視点
(未来へのたねまき, 多様性, 政策
融合等...)を考慮

4. 計画推進のための施策

第2期京都市市民参加推進計画（改定版）



4. 計画推進のための施策

第3期京都市市民参加推進計画

令和元年度に議論 ← → 令和2年度にフォーラムで議論



重視する視点

「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進

次世代につながる市民参加の裾野の拡大

協働による課題解決の挑戦

対話や学び合いの場づくり

市民参加を促進する方策、きっかけづくり

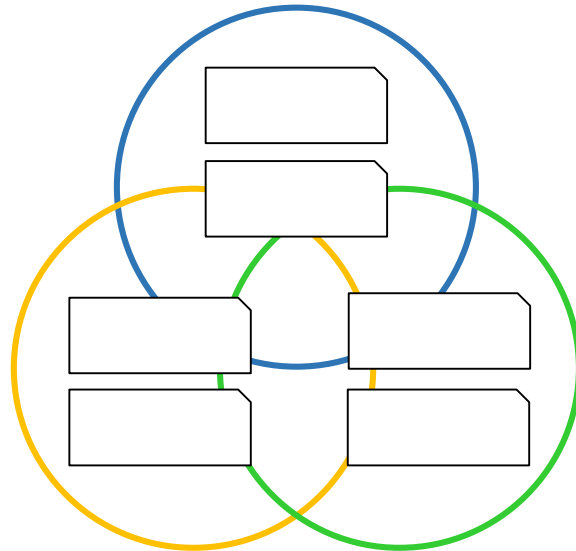
協働の担い手、次の世代へのアプローチ

多様な主体による市政参加・まちづくり活動の推進

課題から市民と共に考え、解決まで協働する取組

2. 市民の市政への参加の推進

(フェーズ(局面))

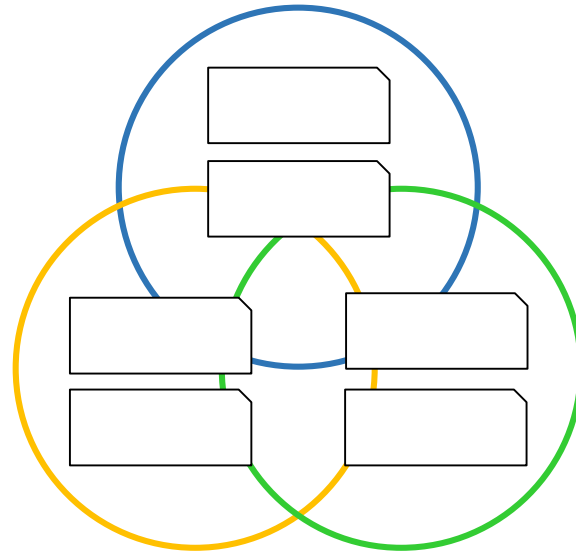


(フェーズ(局面))

(フェーズ(局面))

3. 市民のまちづくり活動の活性化

(フェーズ(局面))



(フェーズ(局面))

(フェーズ(局面))



1. 市民との未来像・課題の共有

4. 計画推進のための施策

第3期京都市市民参加推進計画

令和元年度に議論 ← → 令和2年度にフォーラムで議論

重視する視点

「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進

次世代につながる市民参加の裾野の拡大

協働による課題解決の挑戦

対話や学び合いの場づくり

市民参加を促進する方策、きっかけづくり

協働の担い手、次の世代へのアプローチ

多様な主体による市政参加・まちづくり活動の推進

課題から市民と共に考え、解決まで協働する取組

2. 市民の市政への参加の推進

はじめる

④幅広い分野、あらゆる段階での市政参加

⑤市民の視点に立った参加のデザイン

⑥次世代を担う世代の市政参加

⑦参加の手ごたえにつながる市政参加

⑧市民の知恵や力をいかした市政運営

つながる

ひろがる

②信頼関係を構築するための職員と市民の対話

①市民に到達する情報共有

③オープンイノベーション、オープンガバナンス

3. 市民のまちづくり活動の活性化

はじめる

⑨「まちづくりの入口」になる機会づくり

⑩SDGsを背景とした企業や大学等との連携

⑪地域コミュニティ活性化

⑫市民のまちづくりの場と人を支える

⑬多様な主体による協働のチャレンジ

つながる

ひろがる

1. 市民との未来像・課題の共有

4. 計画推進のための施策

施策構成案

(フェーズ)	基本方針1 未来像・課題の共有		関連するこれまでの議論やキーワード
はじめる つながる ひろがる	施策1	市民に到達する情報共有の推進	より到達を意識した情報発信
	施策2	信頼関係を構築するための職員と市民の対話の推進	対話の質の向上, 信頼や学び合い
	施策3	オープンイノベーション, オープンガバナンスの推進	課題をオープンに, 未来志向, 新たな挑戦

(フェーズ)	基本方針2 市民の市政への参加の推進		関連するこれまでの議論やキーワード
はじめる	施策4	幅広い分野, あらゆる段階での市政参加の機会の提供の推進	参加機会の提供, WS等の充実
	施策5	市民の視点に立った参加のデザインの推進	これまで参加されなかった方々へのアプローチ, 楽しみ, メリットのある参加, 参加の好循環
つながる	施策6	子ども, 大学生, 若手社会人等, 次世代を担う世代の市政参加の推進	次世代につなぐ, 市民の学び, シチズンシップ教育, 市民が意見を伝えることの大切さ
	施策7	参加の手ごたえにつながる市政参加の推進	市民も行政も手ごたえ(成果や学び), 政策過程の見える化
ひろがる	施策8	市民の知恵や力をいかした市政運営の推進	新たな挑戦

(フェーズ)	基本方針3 市民のまちづくり活動の活性化		関連するこれまでの議論やキーワード
はじめる	施策9	「まちづくりの入口」になる機会づくりの推進	楽しみ, 参加の好循環
	施策10	SDGsを背景とした企業や大学等との連携強化	企業, 大学等の参加機運の高まり
つながる	施策11	地域コミュニティ活性化の取組	防災, レジリエンス, 地域の担い手不足
	施策12	市民のまちづくりの場と人を支える仕組みづくり	持続可能なまちづくり, 担い手の育成, 関係人口の参加
ひろがる	施策13	多様な主体による協働のチャレンジの推進	トライアンドエラー, 新たな挑戦

4. 計画推進のための施策

基本方針1「市民との未来像・課題の共有」

施策1



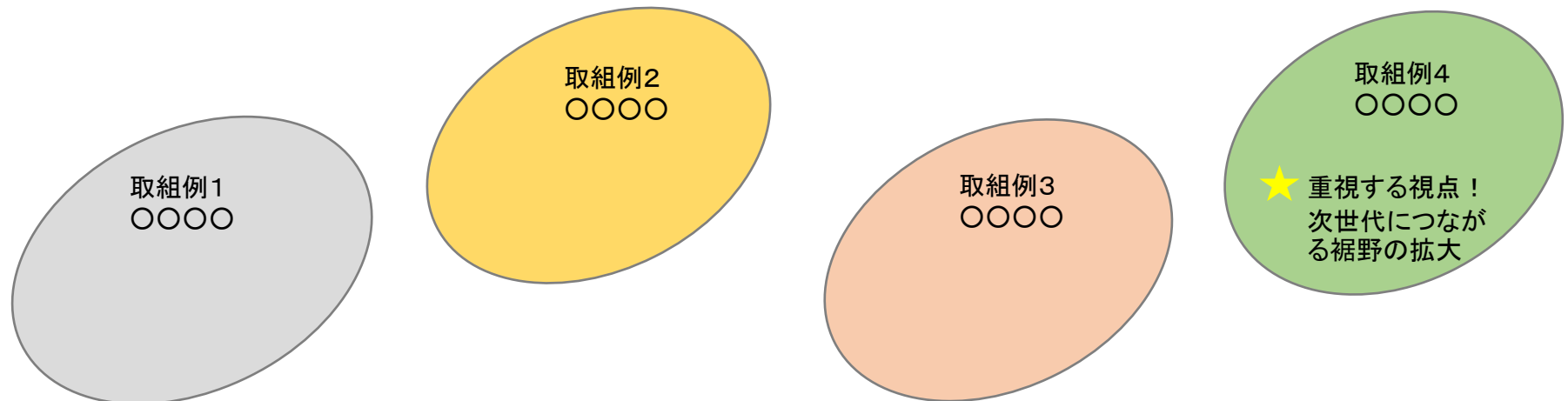
未来像や課題を共有するためには…なにから始めたらいいんだろう？



施策1：市民に到達する情報共有の推進

京都市の政策，施策，事業だけでなく，課題も含め，市政参加やまちづくりに興味を持つきっかけのために，あらゆる主体に向けて，必要な情報を発信します。情報発信は，分かりやすさとともに，到達主義（届けた対象にしっかり伝わること）を重視します。

（具体的な推進例）



4. 計画推進のための施策

基本方針1「市民との未来像・課題の共有」

施策2

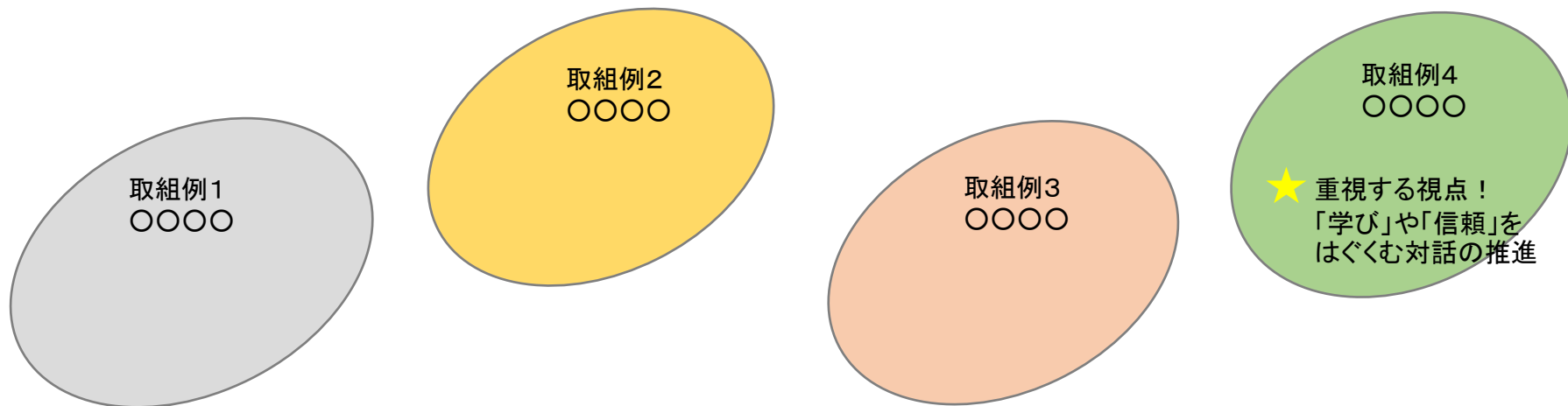


未来像や課題を共有するためには…どんなつながりが大事？

施策2: 信頼関係を構築するための職員と市民の対話の推進

未来像と課題を共有し、良い方向につなげていくためには、成果や既に決まったことがらだけでなく、お互いに抱える課題やこれから決めなければならないことも含めて、職員と市民が、互いに対等の立場で、未来志向の対話をするのが重要です。市民にとっても、職員にとっても、安心安全で話しやすい対話の機会をつくることを推進します。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針1「市民との未来像・課題の共有」

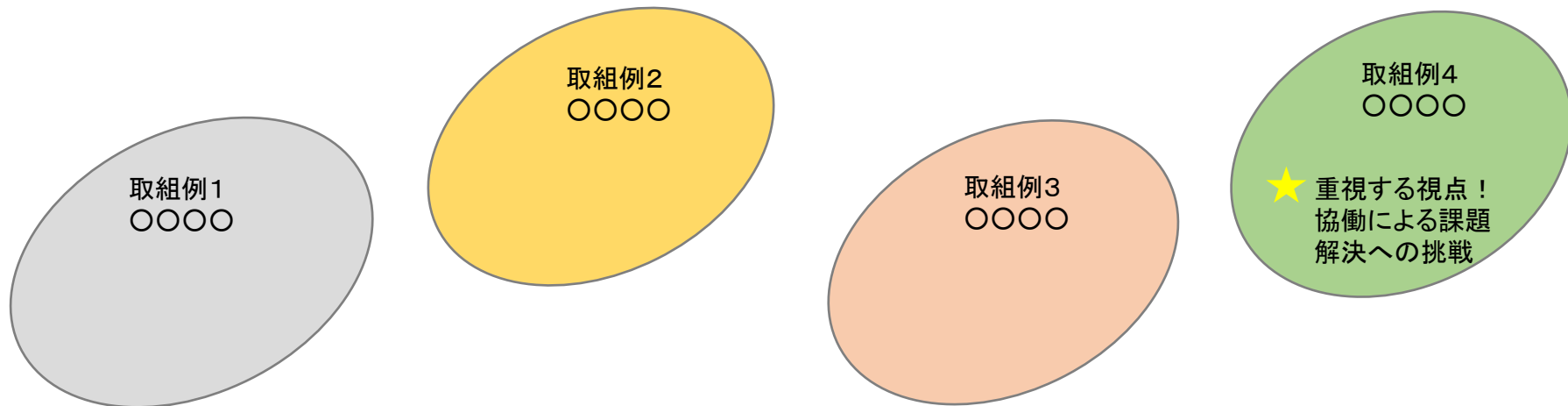
施策3



未来像や課題を共有したら…どんなふうにひろがるの？

施策3: オープンイノベーション, オープンガバナンスの推進
対等な立場で, 未来像と課題を共有し, 解決や新しい未来をともに創るためには, 行政だけでは解決できない取組や新しい挑戦が必要になってきます。そのために, 多様な主体が, 協働して, 未来のために行動するきっかけとなる対話の場, 情報共有の場をつくることを推進します。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策 4

はじめる

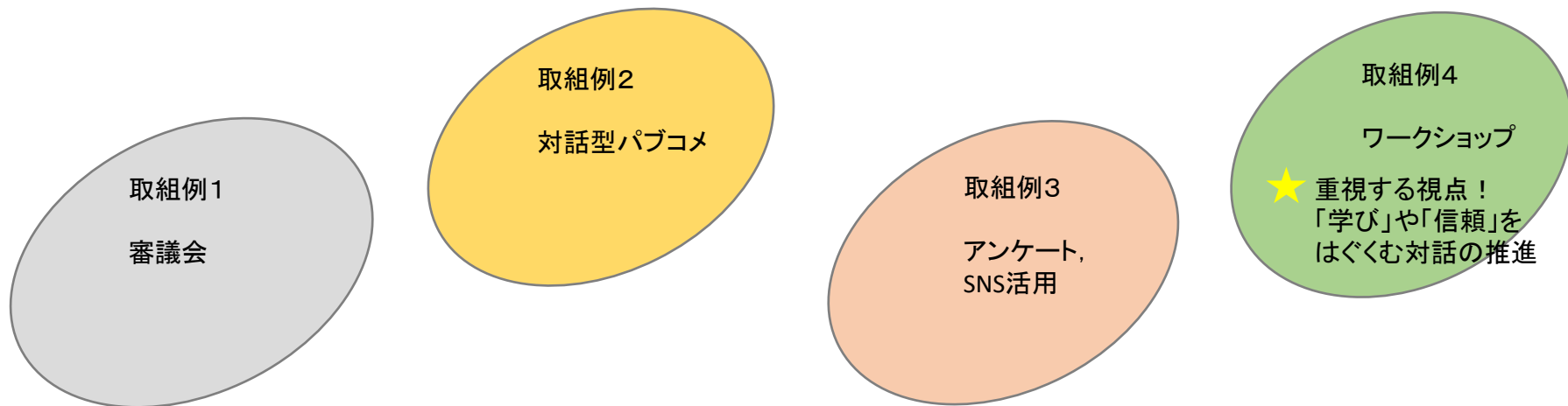
「市政参加するためには…なにからはじめたらいいんだろう？」



施策4: 幅広い分野, あらゆる段階での市政参加の機会の提供の推進

市政参加は, 民主主義で保障された市民の権利です。また, 複雑多様化する社会課題の解決のためには, 政策の形成段階から市民と行政がともに考えることが求められます。すべての施策, 事業において, 常に市民の知恵が反映される制度を推進します。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策5

はじめる



はじめてみたくても、はじめかたがわからない？

キーワード：
デザインシンキング

施策5: 市民の視点に立った参加のデザインの推進

市民参加の裾野拡大のためには、これまであまり市政に興味を持っておられない方、興味はあるけど参加の方法が分からない方の参加のきっかけづくりが重要です。市民視点に立った市政参加の場や手法の設計を推進します。

(具体的な推進例)

取組例1
オンライン推進

★ 重視する視点！
次世代につながる
裾野の拡大

取組例2
場の設計,
時間帯, 周知
方法の工夫

取組例3
UD(障害者,
育児, 介護, 外国
製住民, 等)

取組例4
〇〇〇〇

4. 計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策6

つながる



未来につながる市政参加とは？

キーワード：
シチズンシップ／SDGs

施策6：こども，大学生，若手社会人等，次世代を担う世代の市政参加の推進

多くの市民が社会に興味を持って参加し，市民と行政が良好な協力関係をもって未来を共につくるためには，次世代の地域社会を担う若い世代の市政参加の推進が重要です。

シチズンシップ教育はじめ，社会に興味をもつきっかけづくりや，大学と連携したまちづくり，若い社会人や地域の子育て世代等の市政参加を推進します。

(具体的な推進例)

取組例1
シチズンシップ教育

★ 重視する視点！
次世代につながる
裾野の拡大

取組例2
SDGsによる
大学生の
社会参加

取組例3
未来設計
実践塾

取組例4
地域若手ファシ
リテーター育成

4. 計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策7

つながる

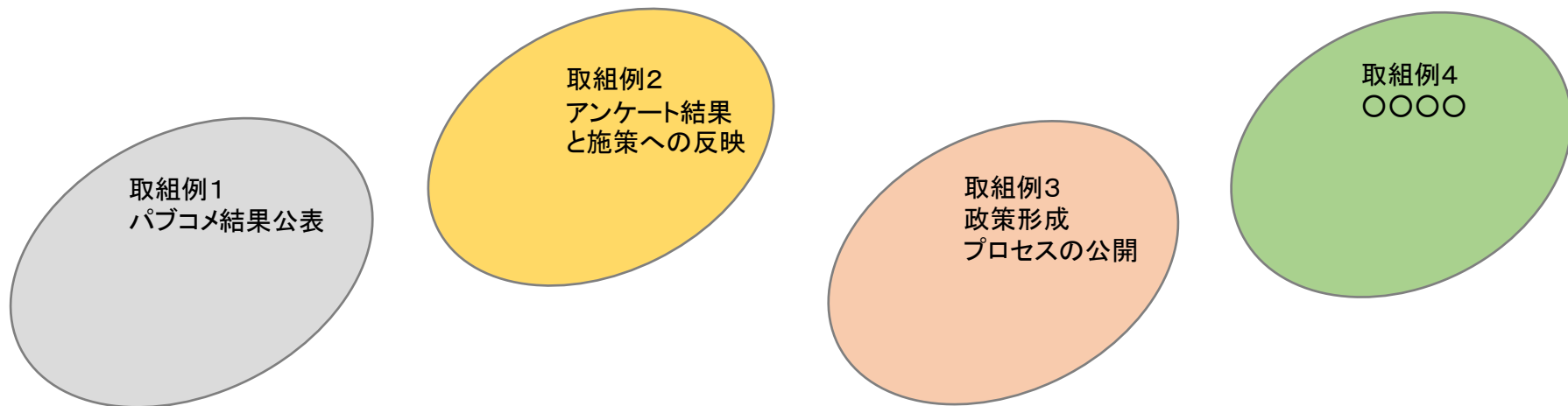


次につながる市政参加とは？

施策7:参加の手ごたえにつながる市政参加の推進

市政参加が継続的なものになるためには、市民と行政が協働によって、どのような成果が生まれたか、市民と行政がどのようなプロセスで政策形成を進めたかなど、お互いに手ごたえを実感できることが重要です。市民の意見の反映について、パブコメやアンケートの結果を公表するとともに、決定のプロセス、協働の成果を共有することを推進します。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策 8

ひろがる

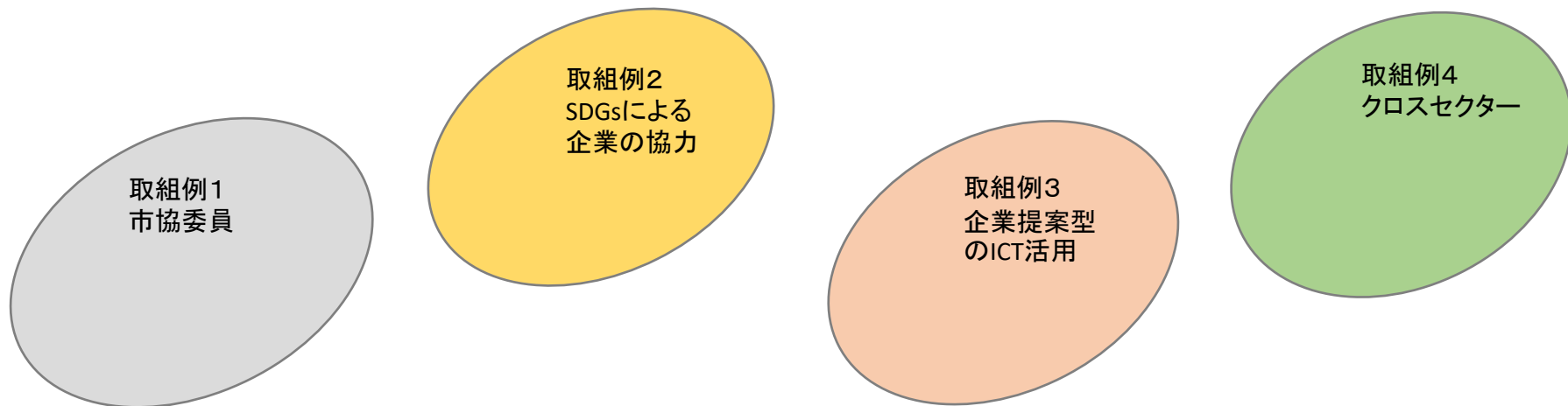


市政参加分野がより広がるには？

施策8:市民の知恵や力を活かした市政運営を推進する。

あらゆる市政分野において、施策・事業を実施する上で、市民意見を反映することはもとより、ソーシャルな活動(CSR,CSV,SDGs貢献等)を推進する企業等事業者も含めた幅広い市民の知恵と力を最大限活用し、より効果的な事業・施策運営ができるよう推進します。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策9

はじめる

まちづくり活動ははじめるにはどうしたらいいの？



施策9:「まちづくりの入り口」になる機会づくりの推進

より多くの方がまちづくりに興味を持って参加するために、楽しさや意義を感じてもらい、参加のハードルを低くする、サービスを受けた経験から提供者になるような工夫をする等に取り組めます。

(具体的な推進例)

取組例1
まちカフェ

取組例2
サービスを受けた人が次に提供者になりたくなる取組

取組例3
まちづくりの情報発信
市民ライター
市民Tuber

取組例4
シチズンシップゲーム

4. 計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策10

はじめる

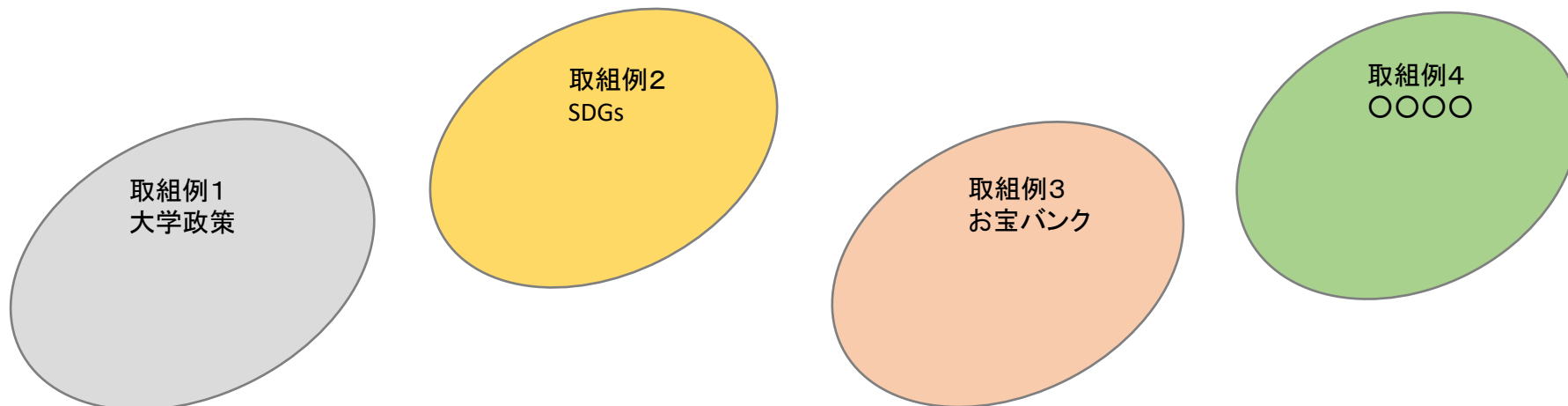
より多くの人まちづくり活動をはじめるきっかけづくりとは？



施策10:SDGsを背景とした企業や、大学等との連携の強化

2030年を目標としたSDGsの達成のために、官民が協力することが求められるなかで、これまでになく、企業や大学をはじめとした多くの主体が、社会活動、地域活動への意欲を高めています。行政がそのハブとなり、様々な新しい主体のまちづくり活動への参加を推進していきます。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策11

つながる

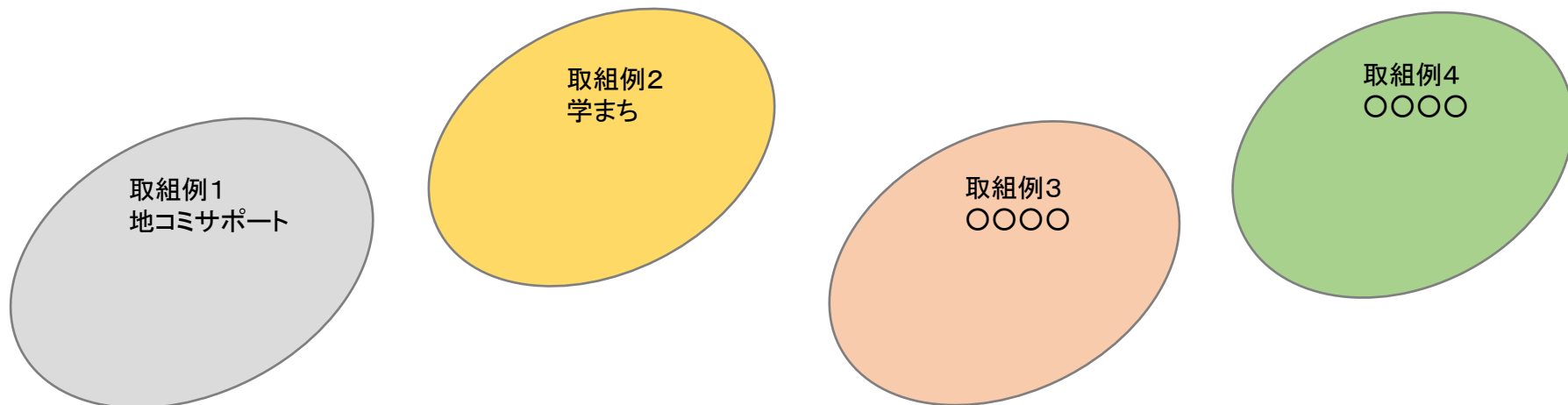


まちづくり活動が地域につながっていくために必要なことは？

施策11：地域コミュニティ活性化の取組

まちづくり活動の重要な場として地域コミュニティは欠かせません。自治会や、町内会などの地域住民組織はじめ、地域の市民活動団体、地域事業者等、多様な地域のプレイヤーが新しい担い手を育成し、地域の個性を生かして活動できるようサポートする取組を進めます。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策12

つながる

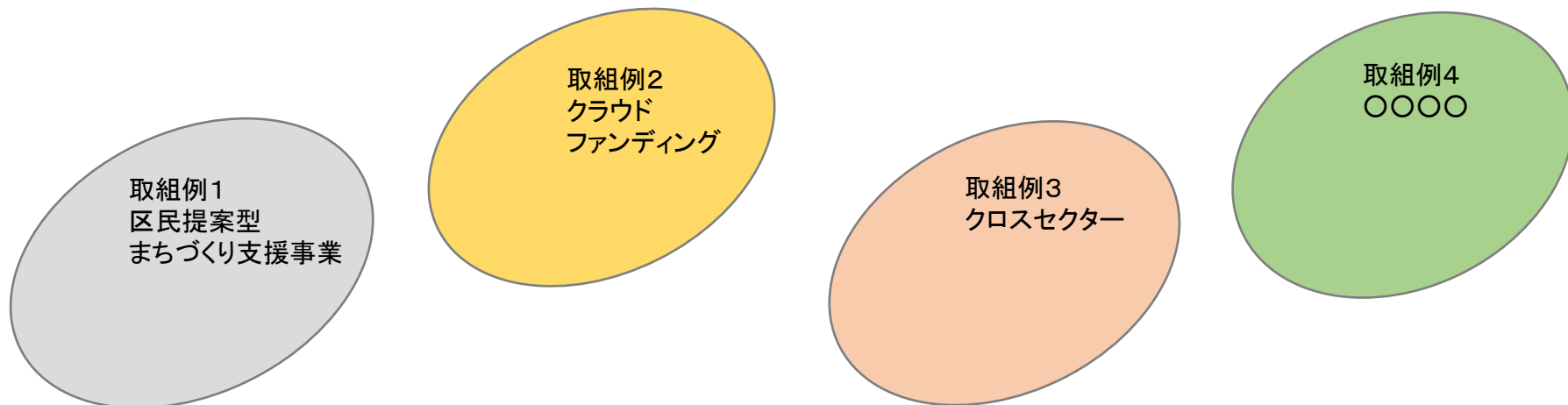


活動がつながって継続していくために必要なことは？

施策12:市民のまちづくりの場と人を支える仕組みづくり

市民のまちづくり活動が持続可能な取組となるために、行政の支援(コーディネート, 財政支援, 人的支援等)と、市民同士で活動を支え、理解する社会全体の環境づくりの両方が重要です。活動する市民へのサポートとともに、市民活動以外の形(寄付, ビジネス等)で協力し合える仕組み等も推進します。

(具体的な推進例)



4. 計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策13

ひろがる



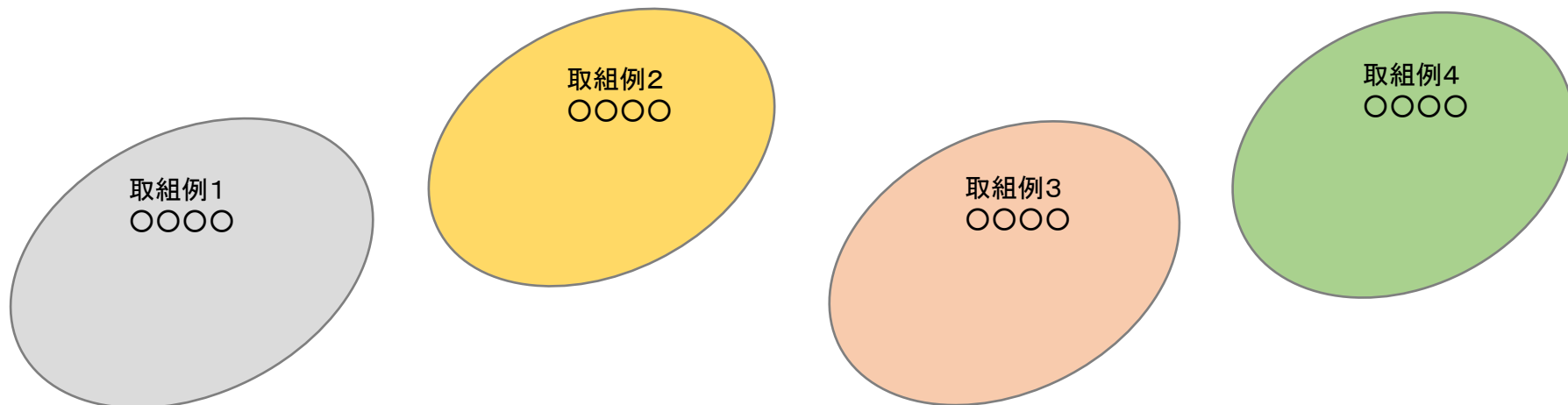
活動がさらにひろがっていくには？

施策13: 多様な主体による協働のチャレンジの推進

複雑多様化した社会課題に簡単に正解はありません。市民によるまちづくり活動は、行政も対等なパートナーの一人として含んだ多様な主体が協働し、それぞれの知恵と力と出し合うことで、大きな成果や地域課題の解決に近づくことができます。

多様な主体の協働を促すとともに、組織や立場、分野や世代を越えて、協働して取組に挑戦できる仕組みづくりを推進します。

(具体的な推進例)

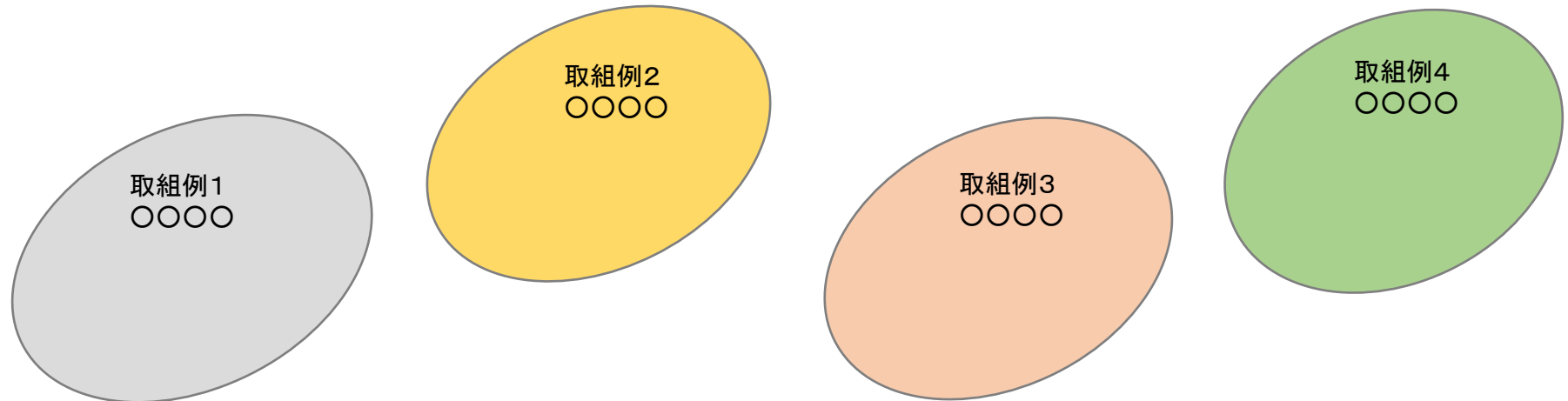


5. 計画を着実に進めるための推進体制

(必須事項)

- 市民参加推進条例の基本理念に基づいた組織設計
- 市民参加推進会議の役割／市会との関係
(今後5年重視する視点案)
- 都市経営の視点を持ち、多様な主体との協働をコーディネートできる職員の育成
- ICTも活用した市民参加の体制強化
- ...

(具体的な推進例)



フォーラムからの提言書

パブコメ結果

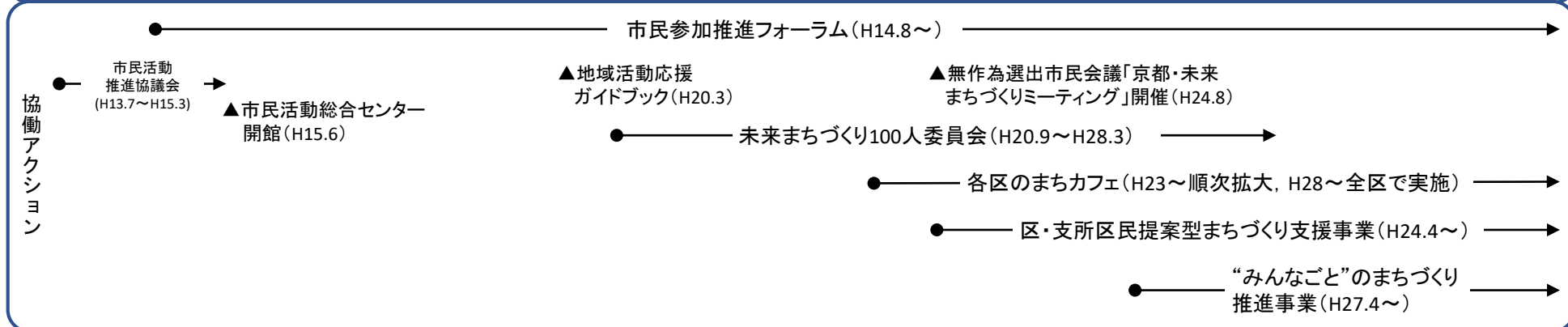
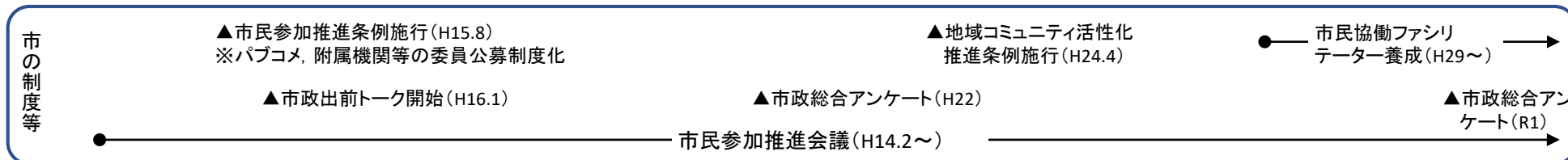
条例本文
(+規則?)

地方分権一括法
(H12)

これまでの取組

H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R01 R02

第1期市民参加推進計画			第1期市民参加推進計画(改訂版)			第2期市民参加推進計画			第2期市民参加推進計画(改定版)		
パートナーシップ 推進室	プロジェクト 推進室	政策 推進室	市民協働政策推進室			創生戦略・市民協働 推進担当	SDGs・市民協 働推進担当				



(実績)

<p>▲H15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブコメ実施件数 19件(平均意見数66.8) ・公募委員が在籍する附属機関等の割合 28.9% 	<p>▲H24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民提案型まちづくり支援事業 への申請件数 275件 	<p>▲H30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブコメ実施件数 19件(平均意見数507.8) ・公募委員が在籍する附属機関等の割合 87.7% 	<p>▲H30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民提案型まちづくり支援事業 への申請件数 403件
--	---	---	---